

中田かわら版 2 月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

深谷通信所跡地

次世代に誇れるスポーツ公園に！！

中田地区経営委員会 委員長 井上昌司

深谷通信所跡地は戦時中旧海軍の通信施設として使用され、その目的から電波の干渉を防ぐために円形状の土地になっています。更にこの施設は東京海軍通信隊戸塚分遣隊が世界を相手に戦った太平洋戦争の通信送受診の確認を行っていたという重要な戦争遺跡でもあり、他には見られない貴重な歴史的遺産であることも後世に伝えていく必要があります。

この円形状の敷地は直径約 1 km、面積は東京ドーム 16.5 個分の約 77ha で霊峰富士を中心に丹沢連峰や箱根連山の山々を一望できる市内唯一の眺望絶佳の場所です。この素晴らしい場所を終戦の昭和 20 年（1945 年）に米軍の通信施設用地として接收され米国海軍の重要な場所となり近隣住民には電波障害等で多大な負担を被ってきたことも事実であります。

その後、地域住民の念願である米軍施設の早期返還を市政の重要課題として取り組み、漸く平成 26 年（2014 年）6 月に返還されました。この跡地利用に対する地域住民の様々な意見や要望を踏まえ、泉区として深谷通信所返還対策小委員会と対策協議会を設けることで、区としての総意としました。そのためには跡地利用に一番興味関心がある中田の地域住民の声を区の小委員会・協議会で議論することが肝要と考え、中田地区経営委員会の跡地構想プロジェクトとして活動し様々な要望書を出させて頂きました。それが反映された今回の横浜市最新施設配置イメージ図が公表され、返還から 10 年余りを経て漸く活用方法が具体化してきました。

スポーツ施設や多目的広場、市営墓園を整備する約 77ha の敷地には防災機能も備え、市西部の新たな拠点とします。また、現状の景観を生かし中心に富士山の眺望を楽しめる「見晴らしの丘」やヘリポートなどを整備し、周囲にはスタジアム付き陸上競技場・硬式野球場・サッカー場を整備。多目的広場や遊具広場・ドッグランを設けるとともにテニスコート・バスケットボールやスケートボードを楽しめる「ニュースポーツエリア」を配置しています。

跡地の西側には約 13ha の市営墓園を整備。高齢化に伴う需要の高まりを見据え、芝生型の墓地を約一万五千区画、3 万體分の合葬式納骨施設を用意しています。3 km 余りの外周には幅約 50m 道路を新設し、歩車道のほか散策やジョギング・サイクリングが可能な空間を設けています。また、今後の課題として、来園者の増加に備えて環状 4 号線に直通する市道は新設する準備に入っていますが、長後街道立場から深谷通信所跡地（一部事業決定）までの環状 3 号線の早期整備と土壌汚染対策・困窮区域内の徹底調査の要望も今、協議しているところです。

横浜市は 2027 年頃の都市計画決定を見込んでおり、用地取得や中心部の建物撤去作業などを経て 2030 年代に工事に着手する見通しであります。

夢が叶うかも!!

深谷通信所跡地にスポーツ公園が！最新の跡地利用計画図面示される

1 スポーツ公園面積 約50ha

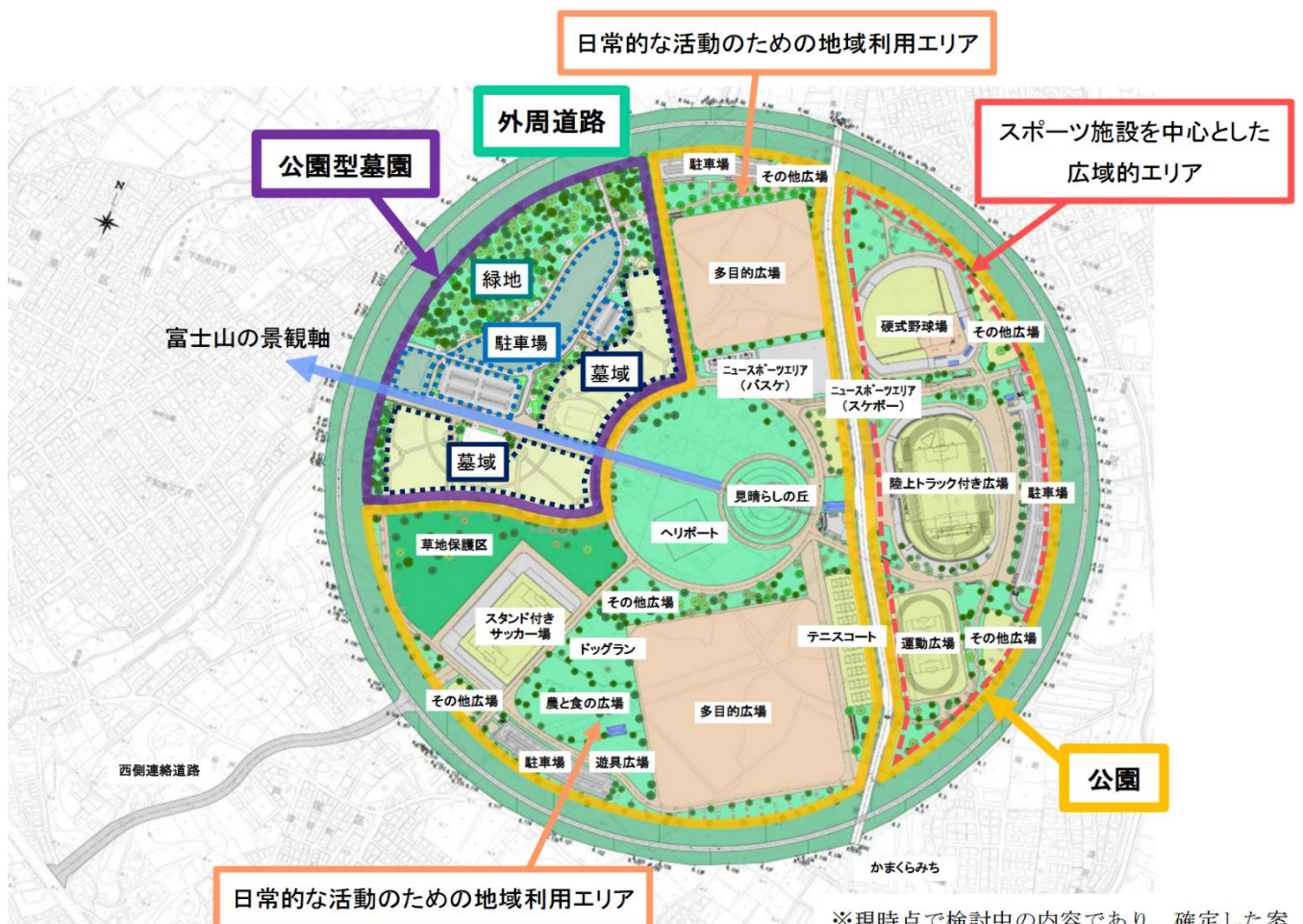
スタジアム付陸上競技場・サッカー場・硬式野球場・運動広場・テニスコート・ニュー
スポーツ施設・ドッグラン・遊具広場

富士山、丹沢連峰を望める「見晴らしの丘」・ヘリポート

約3km外周には幅50mの道路施設（散策・ジョギング・サイクリング可能な空間）

2 公園型墓園面積 約13ha(墓地面積；約4ha)

芝生型墓地約1万5千区画 3万体的の合葬式施設



※現時点で検討中の内容であり、確定した案
ではありません。

図 施設配置計画イメージ

編集後記

ふるさと納税っておかしくない？ふるさと納税という名の合憲税逃れが流行っている。ふるさとへの応援ではなく景品の良し悪しで送金先が決まっている。疲弊から立ち直る自治体がある一方で、有るべき税収が得られず運営支障自治体も出ている。本来のふるさと応援なら双方にメリットもあるから良しとして、現行が合憲って言うのは如何なものか。百歩譲って名称変更すべきと思う。読者の皆さまのご見解は那边にありませうか。

河内満明

◎発行：中田地区経営委員会「かわら版」制作編集委員会

委員長 宮田貞夫 編集長 松本正

編集委員；小島敏子、田中進、河内満明、松本純子、鈴木賀津彦、嶋 宏之